

平成30年8月20日

寄贈論文 一覧

宮武 慶之

(学術論文)

1. 宮武慶之(単著):「閑極法雲・東澗道順両筆墨蹟について」,『アート・リサーチ』,立命館大学アート・リサーチセンター, vol. 14, pp. 89-104, 2014 (査読有)
2. 宮武慶之(単著):「新発田藩溝口家旧蔵の大燈国師墨蹟について—物我両忘と日山賦を中心に—」,『文化情報学』,同志社大学文化情報学会, vol. 9-1, pp. 99-112, 2014 (査読有)
3. 宮武慶之(単著):「明治期における溝口家の道具移動史」,『人文』,学習院大学人文科学研究所, vol. 13, pp. 252-279, 2015 (査読有)
4. 宮武慶之(単著):「中山胡民作寿字盃について」,『人文』,学習院大学人文科学研究所, vol. 15, pp. 224-240, 2017 (査読有)
5. 宮武慶之(単著):「白酔庵吉村観阿について」,『日本研究』,国際日本文化研究センター, 第54集, pp. 39-77, 2017 (査読有)
6. 宮武慶之(単著):「木下長嘯子筆「十六夜の文」—吉村観阿と溝口翠濤の關係に注目して—」,『文化情報学』,同志社大学文化情報学会, vol. 12-2, pp. 59-72, 2017 (査読有)
7. 宮武慶之(単著):「吉村観阿と山田屋太郎兵衛」,『日本研究』,国際日本文化研究センター, 第56集, pp. 33-53, 2017 (査読有)
8. 宮武慶之(単著):「思功供展画会に出品された一休宗純筆墨梅図」,『人文科学年報』,敬和学園大学人文科学研究所, 第27号, pp. 105-119, 2018 (査読有)

(研究ノート)

9. 宮武慶之(単著):「大徳寺寸松庵伝来の三幅対と吉村観阿—『過眼録』を起点に—」,『文化情報学』,同志社大学文化情報学会, vol. 13-1 及び 2号(合併号), pp. 191-208, 2018 (査読有)
10. 宮武慶之(単著):「吉村観阿の茶の湯と目利き一号との關係に注目して—」,『藝能史研究』,藝能史研究会, 第199号 pp. 20-30, 2018 (査読有)

(資料紹介)

11. 宮武慶之(単著):「御掛物帳にみる新発田藩溝口家旧蔵の書画」,『新潟県文人研究』,越佐文人研究会, vol. 16, pp. 154-191, 2013
12. 宮武慶之(単著):「新発田御道具帳御にみる新発田藩溝口家旧蔵の茶道具」,『文化情報学』,同志社大学文化情報学会, vol. 9-2, pp. 59-112, 2014 (査読有)
13. 宮武慶之(単著):「続・御掛物帳にみる新発田藩溝口家旧蔵の書画」,『新潟県文人研究』,越佐文人研究会, vol. 17, pp. 100-109, 2014
14. 宮武慶之(単著):「拾遺・『御掛物帳』にみる新発田藩溝口家旧蔵の書画」,『新潟県文人研究』,越佐文人研究会, vol. 18, pp. 193-205, 2015
15. 宮武慶之(単著):「溝口家旧蔵の茶道具拾遺」,『文化情報学』,同志社大学文化情報学会, vol. 11-1, pp. 26-42, 2015 (査読有)
16. 宮武慶之(単著):「拾遺・御掛物帳にみる新発田藩溝口家旧蔵の書画(二)」,『新潟県文人研究』,越佐文人研究会, vol. 19, pp. 36-45, 2016
17. 宮武慶之(単著):「溝口家旧蔵の茶道具拾遺(二)」,『文化情報学』,同志社大学文化情報学会, vol. 11-2, pp. 17-26, 2016 (査読有)

(調査報告)

18. 宮武慶之(単著):「明治期における溝口家の道具移動史補遺—原三溪旧蔵の雪村筆龍虎図屏風と啓書記筆李白観瀑図について—」,『人文』,学習院大学人文科学研究所, vol. 14, pp. 223-242, 2016 (査読有)
19. 宮武慶之(単著):「高麗堅手鉢子茶碗銘《白妙》について」,『野村美術館研究紀要』,野村文華財団, vol. 25, pp. 99-109, 2016

以上

備考

- 1) 黄色の箇所は、後日、同志社大学文化情報学会より送付いたします。
- 2) 今後、溝口家研究に関係する論文は、随時寄贈いたします。